



Contents ●9月例会開催 ●委員長・副委員長交流会

●委員会紹介 ●中央会野球部OB送り出し会 ●卒会者より愛を込めて ●会長連載「道なき道を」

◆鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 山口尚文 ◆編集責任者/担当 副会長 西田裕志 ◆制作・編集 第45期広報委員会/委員長 渡邊公平

9月例会開催 ～空想地図で米子の街を読み解く～

9月17日、米子コンベンションセンターBIGSHIPで地域ビジョン委員会が主宰し開催された。



冒頭の山口会長の挨拶では、前日行われた野球部の試合の労いと、ベトナム視察研修で現地の研修生から自分の生活をより豊かにするという

向上心を感じられた体験を踏まえ、「私達は今恵まれすぎて色々な事が当たり前になっている。今一度、我々も向上心をもって、中央会の活動を通して積極的に学んでそれぞれの会社や皆さんの人生を豊かにして欲しい」とのお言葉があった。

続いて、9月新入会員の山根壮会員へのバッジ授与式、そして継続準備委員会 木嶋会員の第2子誕生というおめでたい報告の後、広報委員会 高井会員より「美酒佳肴ゆらく」の開店の際に頂いたお祝い等にお礼を述べられた。



令和元年最初の委員長タイムでは、広報委員会 渡邊委員長より「水について」をテーマに上下水道の料金の仕組みや水道行政の抱える問題を通して、水は大切な資源であり資源を大切にす一策として、節水機器導入による具体的な節水方法の紹介

がされた。

本例会は、空想地図作家で通称「地理人」の今和泉隆行氏をお招きし「みんなの空想地図～地図から読み解く街～」をテーマで講演を頂いた。また、試みとして入会検討者の方をお招きし当会会員と共に参加頂いた。



まず、地域ビジョン委員会 小谷委員長より、例会についての趣旨説明と講師の紹介が行われ、地域の魅力とは何かを考えるにあたり、空想地図ワークショップという新しい手法を通して改めて客観的に我々の街米子を考え、街づくりを考える機会を持つ例会としたいと語られた。

第1部では、今和泉氏から空想地図をつくるようになったきっかけや、リアルな空想地図を作成するためには異なる価値観や様々な視点での物の見方が大切であることを、自己紹介を交えながら説明して頂いた。その後、実在の都市市街地図をもとにして、都市を取巻く地形



や中心市街地の施設分布などの地域特性により、その都市の特徴を読み解く方法について解説を頂いた。



まず、地域ビジョン委員会 小谷委員長より、例会についての趣旨説明と講師の紹介が行われ、地域の魅力とは何かを考えるにあたり、空想地図ワークショップという新しい手法を通して改めて客観的に我々の街米子を考え、街づくりを考える機会を持つ例会としたいと語られた。



第2部では、第1部の解説を参考に、今和泉氏に事前に作成して頂いた4種類の「空想都市米子市」の地図を用いて、地図から想像できるそれぞれの街の特性や生活環境についてグループ毎に意見や見解を出し合い、それに対して今和泉氏より講評を頂いた。その後、実際の米子市の地図で街づくりのプランを練った。空想地図という目線を変えることで、米子市の街づくりアイデアが多く出て、より良い“米子市”を考えるきっかけとなる例会となった。

(記事:川原)

9月例会を終えて



皆さま、9月例会へのご参加ありがとうございました。本例会では空想地図作家で通称「地理人」の今和泉隆行氏をお招きし、空想地図ワークショップという新しい手法で我々の街、米子を考える機会と致しました。ワークでは今和泉氏に制作していただいた「米子駅が中海側にある」など4種類の空想都市米子の地図を読み解いていただきました。はじめての経験で、少し難しいかなとも思いましたが、時が経つにつれ、アイデアも出てディスカッションが盛り上がる様子を見て、やはり中央会のメンバーだな、と感じしきりでした。

皆さまにご回答いただいたアンケート結果では「新鮮だった」「楽しかった」という評価を多数いただきました。印象的だったのは、街づくりに関する直接的な気づきだけでなく、新しい価値観や視点、手法を知ることで、それを自身の仕事など別なシーンでも活かせる気づきとして吸収される方が多かったことです。そのようなご感想を頂いたことを企画者として大変嬉しく思います。

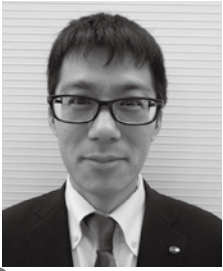
今回、会外から入会検討者として多数の方に例会にご参加いただきました。ワークでの熱気やディスカッションなど会員との交流を通して、多くの方が当会に対して好印象を持っていただいた様子です。

最後に、入会検討者の参加募集など、今回の企画を通して多くの会員の皆さまにご協力いただきましたこと、改めてお礼申し上げます。誠にありがとうございました！！

地域ビジョン委員会 小谷泰樹委員長
(株シー・アンド・エヌネクスト 営業統括リーダー)

10月例会に向けて

政治経営委員会 松田順次委員長
(合同印刷株) 取締役社長室室長



10月例会を担当します政治経営委員会の松田です。10月例会ではMAP経営株式会社で経営コンサルタントをされている山脇渉氏をお招きして、企業が目指す経営ビジョンや目的を達成する為の具体的な事業計画作成の必要性、考え方についてご講演いただき、具体的な行動計画へ落とし込む手法を学びます。企業は様々な計画を立てて実行することで成長していく必要がありますが、立案した計画が不明瞭なものであると、具体的な行動計画に落とし込むことができず、結果として求めている成果を得ることができないと考え今回の例会を企画しました。

例会を通して、今一度、未来を見据えた事業計画の作成について学ぶことで、会員企業が今後も成長していくきっかけとなればと考えています。

委員会紹介 継続準備委員会

副委員長 安藤睦男 (山陰フェンス工業(有) 営業)

私たち、継続準備委員会は当会の継続事業として開催している『大山お地蔵さまフェスティバル』をメイン事業とした委員会です。今回は5月に開催されます第5回お地蔵さまフェスティバルの成功に向け委員会メンバー全員で活動を頑張っております。また、今回は継続準備という名の委員会となっておりますので来期以降もしっかり継続していける準備を委員会で行っております。

継続準備委員会のメンバーは卒会者3名(松田参与、道田会員、戸田会員)、中堅、若手、また新入会員も3名(景山会員、椋野会員、山根会員)となり総勢19名のとても頼もしいメンバーが揃っております。

5月開催のお地蔵さまフェスティバルでは会員、ご家族、OBの方々、また関係各所の方々にも多大なご協力を頂くことになります。是非とも足を運んでいただき大山お地蔵さまフェスティバルと一緒に盛り上げて頂ければと思います。皆様、どうぞ宜しくお願い致します。



myグッジョブ!! 細田晴美

(東亜青果(株) 食品部プロダクトマネージャー)

「東亜青果」という企業名は、創業者が海外への夢を抱き、大陸へと渡って商売を始めたことに由来します。それから70余年、社会や技術の進歩とともに、世界に大きな環境の変化の波が訪れようとしています。

わが社は「豊かな食文化を提案することで健康な地域社会の実現を目指す」を企業理念とし、その実現のため「生産者の皆様と消費者をつなぐ架け橋」を目指し、消費者の皆様にご満足頂ける商品の開発と自社流通機能を活かした販路拡大、東南アジアへの鳥取県産の青果物・加工品の販路開拓に積極的に取り組んでいます。

私が統括する食品部は、2年前、本社に隣接した敷地内に工場を創設し、6次産業化に取り組み、その第一弾として干し芋・干し柿の製造を開始しました。独自の冷風乾燥技術による干し芋は、平成30年度鳥取県特産品コンクールにて優良賞を獲得しました。そしてこの度、さつまいもペーストを活用したスイーツである「紅はるかバウムクーヘン」、「わらび餅」を新発売しまし



た。今までのさつまいもペーストとは違い、カスタードクリームのような滑らかで上品な味の誕生です。丁寧な感性とふんわりと仕上げた紅はるかバウムクーヘンとわらび餅。その豊かな味わいをお楽しみ下さい。

『美酒佳肴ゆらく』オープン!

本年8月11日に、米子駅前通りにオープンした『美酒佳肴ゆらく』。当会の高井会員がオープンさせた居酒屋です。お祝いも兼ねて早速訪問! 店内にはジャズが流れ、落ち着いた雰囲気大人の空間が演出されており、楽しくもゆったりとした時間が流れます。

そして、ゆらくのお勧め料理は何と言っても「さばしゃぶ」。高井会員も「さばしゃぶを米子の名物に!」と意気込んでおられます。その言葉通り見た目も美しく、ボリュームも味も最高な一品で、地酒との相性も抜群でした。

高井会員の真面目で優しい人柄が感じられる『美酒佳肴ゆらく』。これから地元の皆様や観光客の皆様にご喜ばれ、米子駅前通りを代表する名店の一つとなっていくことでしょう。

(記事:三嶋)





OB訪問 ~青経連の思い出~

浜田貴稔OB (有)こめや産業 代表取締役

今回は有限会社こめや産業、代表取締役の浜田貴稔OBに青経連の思い出についてお聞きしました。



~以下、浜田OBのお話~

青経連は4つの団体が集まって事業を行っていますが、他団体が交流、親睦をメインに活動する中、中央会はその時々時事ネタをテーマに持っていく等、会員の為になる事や地域の方に発信する等の活動を昔からしています。

私の時も地方創生をテーマにし、当時、地方創生大臣だった石破茂さんを迎える事を柱として、その講演会には一般の方も呼び出すという事を最初の打ち合わせで決めた後、石破さんの来られる日程を押さえ、知事、市長にもお声掛け

をしました。会場をどこにするかという話で、コンベンションの小ホールでしょうかと思っていましたが、一般の方も沢山来られるのではないかと話になり、コンベンションの小ホールは300人規模でしたが、その次に広くて押さえることのできた1,500人規模の公会堂になりました。1,500人も来るのか、来なかったらどうするか等の話も上がりましたが、結果としては500人でした。それでも一般の方がゼロでは無かったので、多少なりとも意味があったかなと思います。

青経連の現状としては4団体にはそれぞれの考えや目的があり、毎年バラバラな事をしていると思います。4団体として共通の目的を持つ事や中期、長期の目標を掲げるとより意義のある事業になるのではないかと思います。

現役会員の皆さんへメッセージを送るならば、綱領に全てが込められており、当然それに沿って活動していると思いますが、それぞれが各々自分なりの解釈をして活動をして欲しいと思います。ただ単に活動しているとただ単に卒会してしまいます。卒会式に泣ける位の思いを持って活動していただきたいです。

今回の記事は浜田OBよりお話いただいた内容のほんの一部になりますが、大変貴重なお話をしていただきました。浜田OBお忙しい中快く引き受けていただきありがとうございました。

(記事: 仲佐)

中央会野球部新OB送り出しの会

9月16日、名和総合運動公園野球場にて中央会野球部送り出し試合が行われました。今年度の送り出しは内田和先輩、山口早先輩、森下先輩の3名です。対戦相手は米子商工会議所青年部でした。試合は互いに譲らない接戦。試合を決めたのは打席で「思い出を作らせてください!」と気合を入れた内田先輩の二遊間を破る一打でした。山口先輩の声援も秋空に響いていました。試合は6-4で勝利。続く送り出し会に勢いがつきました。

大連で開かれた会にはOB会員にも参加いただき総勢30名で大いに盛り上がりました。3名の先輩に記念品が贈られ愛のこもった

ヤジが飛び交いました。会の終盤からの参加となった森下先輩の輝く汗が印象的でした。今年も野球部らしい送り出し会を行うことができました。

(記事: 高見)



卒会者より愛を込めて

西田裕志(山陰酸素工業(株) 課長)



平成27年3月に後藤会長から中央会バッチを頂き、早いもので今年度を迎えることになりました。

青年経済団体が何なのか、中央会がどんな活動しているのかも分からない状況で入会し、初めは戸惑いや不安の連続でしたが、「せつかく入会したからには必ず事業に参加する」と心に誓いそれを実践し続けた結果(確か委員会、

例会とも皆勤賞だと思います!!)、会や会員の魅力に染まり、楽しみに変わっている自分に気がきました。

あっという間の中央会生活でしたが、副委員長、委員長、副会長(2回)を拜命させて頂き、会社では絶対味わえない貴重な経験をする事が出来ました。その立場ごとに悩みや考えが異なり、その都度様々な方と相談し、苦難を乗り越えたことで自己の成長に繋がったと確信しております。

40歳を過ぎてたくさんの人と出会い、同じ目的に向かって苦楽を共にしたことは中央会に入っていなければ経験出来ていません。これからの人生でこの経験、繋がりがどう活かされるかわかりませんがきっと良いことがあると信じています。現役会員の皆様も中央会事業に積極的に参加して、多くの経験をしてたくさんの方を感じ取って下さい!!残り僅かな中央会生活に感謝しつつ、楽しみながら過ごしていきたいです。

河上定弘(有)渡辺商事 営業部長)



現在、我が国は世界未経験の少子化に伴う急激な人口減少に直面し、社会の在り方も大きく変わろうとしています。とりわけ地方では加速度的な少子高齢化により社会的、経済的影響が大きいことは論を俟たない所です。このように困難な時代だからこそ、この地域に住まう青年経済人として、また地域を担う責任世代として、何事にも自覚を持ち、取組まなければならないと強く思っております。

我々が在籍する中央会は、45年を超える歴史あるこの地域を代表する青年経済団体です。先輩諸氏が連綿と築いた伝統を大切に時代に即応し、若いからこそその発想力と実行力で活動することがこの地域の輝かしい未来を創ることだと確信しております。

同じ目的・目標に向かい、長い時間を共有し活動するからこそ、本当に信頼できる友に出会い、それは今後の人生の大きな財産になると思います。私は在籍5年強の短い中央会生活でしたが、多くの会員、OBの皆様と出会えたこと、そして心を通じ、共に汗を流したことは一生の宝です。皆様には仲間感謝し、中央会のそれぞれの役職や立場で精一杯悔いなく活動し、令和という新たな時代のもとで自分の歴史を、そして中央会の歴史を築いていただきたいと思います。これからも共にがんばりましょう。

会長連載

道なき道を

第45期 会長 山口尚文

ご存知の方もおられると思いますが、私は境港のハンドボールチームで小学校1年生～3年生のカテゴリーの指導者をしています。子供の頃にお世話になった指導者の方々への恩返しのつもりで始めましたが、今となっては、頑張る選手たちの姿に私の方が大切なことを教わっているように感じています。まだまだ幼い選手たちは、時に涙を流して挫折してしまうこともあります。それでも必ずもう一度立ち上がります。それとは対照的に大人になるに連れて、何事も簡単に諦めてしまっていた自分に気付かされました。これからも選手たちと共にする時間の中で、お互いが学びあえたら幸せだなと感じています。



わが社の設備投資自慢

赤井宏之 (あかい工業(有) 取締役)

設備投資をすることでお客様を紹介してもらい易くなるという体験を通じ、今では9棟分もの住宅基礎用鋼製型枠、効率性を重視した機能的な倉庫、多種多様な重機、宣伝力もあるオレンジタンク、コンクリートポンプ車など紹介しきれないほどの設備投資を進めてきました。



新しい工法による付加価値をお客様にご理解頂き、設備投資前と比べて3割弱の売り上げ増となりました。その際、広く行った設備や新工法の周知活動は、3年間在籍した広報委員会での経験が役に立ちました。これらの自身の経験を踏まえ、中央会入会以降、少人数の会社とも設備投資の相乗効果や重要性を共有してきました。



発展を目指しています。

現在ではSMOCK全国ベタ基礎一体打ち普及協議会を発足し、志を共にする仲間と更なる

訂正とお詫び

ハンサム364号の1面の「8月例会を終えて」の石田委員長の役職名に誤りがありました。

【誤】会員拡大担当理事 → 【正】継続準備委員会 委員長
関係各位にご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正いたします。

〈新入会員〉

(継続準備委員会)



山根 壮

（株）ヤマネ産機

機械工具と省力化機器の販売

〒683-0804 米子市米原9丁目2番36号

TEL 33-2845 FAX 34-7010

AB型 課長

R01.09 (R01年) 入会
(推薦者) 松田(幸)
山根(宏)

〈コメント〉皆様こんにちは。山根壮と申します。活動を通じて、これから皆様に教えて頂くことばかりだと思いますが、行動力と感謝の心を忘れず、地域社会の為、精一杯努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

委員長・副委員長交流会開催

9月7日、8日の二日間、県民ふれあい会館にて委員長・副委員長交流会が開催された。

初日の第1部では『価値観のバズ抜き』を行い、ゲーム感覚でそれぞれが自分の価値観を見つめ直し、再認識する機会となった。第2部のグループミーティングでは、それぞれが所属する委員会の活動内容を話し合い、委員長グループは自分が企画したい例会について発表、副委員長グループは理想の委員会について発表した。

懇親会是对翠閣にて行われ、様々なアトラクションが催され大いに盛り上がった。懇親会終了間際に翌日の課題が伝えられ、各グループが宿の部屋で課題について議論しあう等それぞれの夜を過ごした。

2日目はグループ毎に交流会の感想と課題について発表を行い、二日間の非常に濃密な交流会は幕を閉じた。

(記事:下村)



境港の魅力発見!!

(有)戸田油店 (戸田博之会員)

手作り感溢れる店構え、中に一步踏み入れると鬼太郎グッズが出迎えてくれる。一見するとお土産屋である。しかし、「うちはガス・灯油ですから!」と戸田博之会員。水木しげるロードが整備される以前から商店街に店舗を構え、日用品や石油製品を販売していたとのこと。ふと店内の隅に目を向けると鬼太郎キャラクターが並ぶ店内には似つかわしくないロウソクや日用品が...



ここで、気付かされる。商店街活性化の一環で手作りグッズや店舗限定品を新たに制作する中でも、ブームに乗って県外企業が商店街に進出してきても、地域密着型の業態を続ける想い。

「この看板は変えたくないんです。久しぶりに訪れる人でも分かるように」

「戸田油店」ここには流行だけではなく、昔から変わらぬ「おもてなしの心」が人々を引き付けている気がした。

(記事:長谷川)

10月役員会報告

令和元年10月1日(火)米子市公会堂 集会室5にて10月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・9月例会開催報告の件
- ・10月例会開催の件
- ・11月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認下さい。

編集後記

ハンサム10月号の発刊にあたりご協力いただき誠にありがとうございます。紙面を構成する際、委員会内で企画に対して意見を出し合い1人でも多くの方に次号が楽しみと言われるような「ハンサム」作成を目指しています。次号もお楽しみに!
(広報委員会 足立 駿)